

クリエイティブシティ・ヨコハマ-20th Anniversary- ～YOKOHAMA ART in Summer～を開催します！

この夏、まちなかでアートとの出会いが生まれます

7月5日～7日に、世界水準の国際アートフェア「Tokyo Gendai」が、パシフィコ横浜で開催されます。

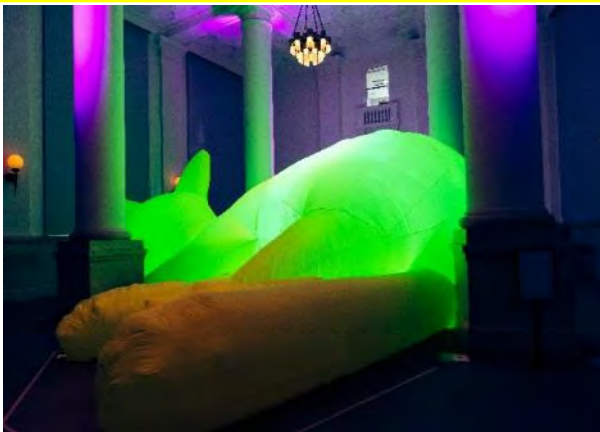
「Tokyo Gendai」の開催期間を中心に、「YOKOHAMA ART in Summer」と題して市役所アトリウムにおいて大型作品展示を行うとともに、創造界隈拠点、横浜美術館において様々なアートプログラムを展開します。昼だけでなく、夜も楽しめる企画をご用意しています。この夏、アートで盛り上がる横浜にぜひお越しください。

<市役所アトリウムでのプログラム>

7月4日(木)～7月7日(日)

<ミナトノアート わたなべもとか クーカン 渡辺元佳、KUKANによる大型アート作品展示

in 市役所アトリウム>



写真：kayocompose

横浜のまちなかで、アーティストやギャラリーなど、アートを生業とする方々の活躍の場を提供してきた「ミナトノアート」が企画するアートプログラム。市役所アトリウムにおいて、彫刻家 渡辺元佳氏の大型バルーンアートと、美術家 白下部泰生氏が主導する立体造形プロジェクト「KUKAN」による立体作品の展示を行います。市役所というパブリックな場に大型アートが出現する意外性とアトリウムの大空間を有機的に使った作品により、市役所を訪れる多くの人に新たなアートとの出会いを提供します。

会期：7月4日(木)～7日(日) 10時～17時

会場：横浜市役所アトリウム(中区本町6-50-10)

入場無料

7月6日(土)～7月7日(日)

<ミナトノアート 子どもから大人まで楽しめるアートワークショップ

in 市役所アトリウム>



写真：東玄太

横浜のまちなかで、アーティストやギャラリーなど、アートを生業とする方々の活躍の場を提供してきた「ミナトノアート」が企画する、子どもから大人まで楽しめるアートワークショップ。同じ会場内には、大型アート作品の展示もあり、それらを鑑賞するもよし、手を動かし、自分だけのアート作品をつくるのもよし。創造性が溢れるクリエイティブな空間で、アートに浸る時間をお過ごしください。

会期：7月6日(土)、7日(日) 10時～17時

会場：横浜市役所アトリウム(中区本町6-50-10)

申込：不要

参加費：要(ワークショップにより異なります。詳しくはミナトノアートインスタグラムなどでご確認ください。)

<創造界限拠点、横浜美術館でのプログラム>

6月28日(金)～9月23日(月・祝) ※開催期間は下記参照
BankART1929 <BankART Under35 2024>



35歳以下のアーティストを紹介する個展シリーズ。今回は公募により6名のアーティストの個展を行います。展示を通してそれぞれ1つ以上「作品が売れる」、「プレスに批評が出る」、「次展示(仕事)に選ばれる」という目標を掲げ、作家たちの次なるステップアップを目指した展覧会となります。

会期：①6月28日(金)～7月21日(日)
 ②8月2日(金)～8月25日(日)
 ③8月30日(金)～9月23日(月・祝)
 ＊オープニングレセプション | 各会期初日の19:00～20:00
 時間：11時～19時 入場：400円(カタログ2冊付)
 会場：BankART KAIKO (中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK & WHITE 1F)
 詳細：<https://www.bankart1929.com/u35/>



7月4日(木)～9月23日(月・祝)
BankART1929 <島袋道浩 個展「音楽が聞こえてきた」>



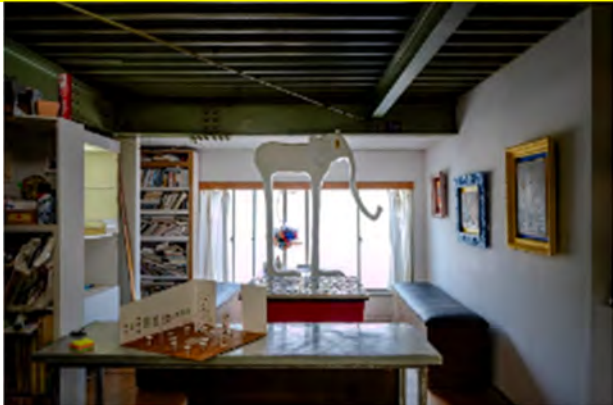
白鳥、海へゆく Swan Goes to the Sea 2012 & 2014

「音楽が聞こえてきた」というタイトルの下、音や音楽に関連する作品で構成された展覧会を開催します。これまで島袋氏は作曲家の野村誠氏や小杉武久氏、ミュージシャンのカシン氏、モレノ・ヴェローゾ氏、アート・リンゼイ氏、ブラジルの吟遊詩人のハベンチスタなど、さまざまな音に関係する人たちとコラボレーションを行ってきました。日本初公開の「キューバのサンバ」や、関東圏では発表されたことのない作品を含む約10点がBankART Stationの地下空間に会します。

会期：7月4日(木)～9月23日(月・祝) 11時～19時 (7月4日～6日のみ11時～22時)
 ＊オープニングレセプション+野村 誠ライブ・パフォーマンス 7月5日(金)19:00-21:00
 会場：BankART Station(西区みなとみらい5-1みなとみらい線「新高島駅」地下1F)
 入場：一般1,000円、大学生・高校生500円、中学生以下及び障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名まで無料、後日再入場500円
 詳細：<https://bankart1929.com/shimabuku/index.html>



7月2日(火)～7月21日(日)
象の鼻テラス <GALLERY SERIES vol.12堀江和真展「にゅいな テラス」>



堀江和真「にゅいな テラス」 Photo：東間嶺

象の鼻テラスでは、日常的にアーティストの表現に出会う機会の創出を目指した展示シリーズ(ZOU-NO-HANA GALLERY SERIES)の第12弾で、堀江和真氏を紹介します。堀江氏は、描く行為を分解し、組み立て直すことで作品を生み出す作家です。キャンバスに絵の具を置くような感覚で空間にオブジェを並べ、一つの絵画作品にします。そして、オブジェを介在させ来場者との対話や行動の創造を試みます。展示期間中は、堀江氏の作家仲間らも集いマルシェやワークショップを繰り広げ、象の鼻テラスを堀江氏の世界観で包み込みます。

会期：7月2日(火)～21日(日) 10時～18時
 会場：象の鼻テラス(中区海岸通り1-1) 入場無料
 詳細：<http://www.zounohana.com>



7月5日(金)、7月6日(土)

象の鼻テラス <特別夜間開館 & スナックゾウノハナ>



象の鼻テラスでは、Tokyo Gendaiの開催に合わせて、7月5日(金)、6日(土)の開館時間を延長し、特別夜間開館を行います。期間中に展覧会を開催しているアーティスト堀江和真氏が滞在する時間帯もあり、来場者との交流の場となります。また、7月6日(土)は、特別メニューが登場する象の鼻カフェやDJタイムを楽しむ「スナックゾウノハナ」を同時開催します。アーティストや来場者相互の交流をお楽しみください。

会期：7月5日(金)、6日(土) 10時～22時

会場：象の鼻テラス(中区海岸通り1-1)

入場無料(飲食実費負担)

詳細：<http://www.zounohana.com>



7月5日(金)～7月7日(日)

<横浜美術館 新収蔵作品特別展示 浅井裕介《八百万の森へ》>



浅井裕介《八百万の森へ》 2023年
横浜を含む日本各地の土、アクリルレジン、木炭、鉛筆、弁柄、
9枚の木製パネル 325 × 390 cm(可変)
横浜美術館蔵(横浜信用金庫創立100周年記念寄附による購入
撮影：坂本理

横浜美術館では、現代美術家 浅井裕介氏の新作《八百万の森へ》の3日間限定特別展示を開催します。本作品は、2023年度、横浜信用金庫の創立100周年記念事業として横浜市文化基金へ寄せられた寄附金を財源として、横浜市が浅井裕介氏に作品の制作を委嘱し、新たに横浜美術館コレクションに加わったものです。画材として主に横浜市内の土が用いられ、多くの人や場所との交流が生まれた本作品を、ぜひご覧ください。

会期：7月5日(金)～7日(日) 12時～17時

会場：横浜美術館 ギャラリー5

(西区みなとみらい3-4-1)

観覧料：無料

※ご注意ください：開催期間中、ギャラリー5以外は休室につき、ご覧いただけるのは本作品のみです。

詳細：<https://yokohama.art.museum/>



(参考)「Tokyo Gendai」開催概要

Tokyo Gendaiは、国内外のアート関係者が一堂に会する世界水準の国際アートフェアです。世界各国から集結した、国際的に評価されている現代アートギャラリーによる作品の展示と販売をするイベントです。昨年7月にはじめて横浜で開催され、今年が第2回の開催となります。

- (1) 実施期間・場所：2024年7月5日(金)～7日(日) パシフィコ横浜 展示ホールC・D
- (2) 入場料：当日券(大人)4,500円ほか、前売券、学生・障害のある方の割引あり
- (3) 主催：The Art Assembly(ジ・アート・アSEMBリー)
- (4) 特設サイト：<https://tokyogendai.com/ja/>



報道関係の皆様におかれましては、ぜひ取材をお願いいたします。取材を希望される方は、下記の問い合わせ先へご連絡をお願いいたします。

お問合せ先

横浜市にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課長 新谷 雄一 Tel 045-671-3425